

施策事例 **7** 教育・文化・スポーツ関連施策

小値賀町地域づくりインターン事業

自治体情報 長崎県小値賀町

人口 / 2,840人 標準財政規模 / 1,887百万円

担当課 総務課

電話番号 代表 0959-56-3111

実施主体 小値賀町

関連ホームページ

事業期間 平成24年度

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：182千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	182

施策のポイント

高校を卒業後ほとんどが島を離れる現状の中、都市の大学生を中期的に受け入れることで、地域資源の掘り起こしを行い、地域の活性化と結び付けている。長崎県では小値賀町のみが実施している。(平成24年度)

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

若者(学生)が中期にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方のよさを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言評価を行ってもらいます。また同時に小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てる。

2. 取組の具体的内容

- ・ 農業、漁業、福祉事業などの体験(稲作、イサキ釣り、老人ホーム職場体験)
- ・ 当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動体験
- ・ 当町が進めている「古民家再生事業」についての体験・研修
- ・ 島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・ 島の若者や、各産業との意見交換

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・ プログラムを通じて得た提言などを、地域の活性化に活かすきっかけとする。
- ・ 都会の若者を受け入れること自体で、それを地域活性化の刺激としてもらう。
- ・ 事業への参加を契機に、小値賀町体験交流事業の継続的な運営を促す。

4. 現在までの実績・成果

- ・ 外部の目での地域評価、外部の人だから言える率直な意見を役場職員や地域住民の前で最終日に発表してもらうことで、刺激を与えてもらい人的活性化に結びついた。
- ・ 異なる視点、異なる見解などをプログラムを通して担当者に伝えてもらうことで、新しい地域づくり活動の出現や、地域産業創出のアイデアに繋がった。
- ・ 体験調査員と地域の交流の継続で小値賀サポーターの創出に繋がった。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

体験だけで終わらせて帰ってもらうのではなく、いかに地域に密着した形で取り組ませ、彼らの意見を地域や団体にバックさせるかが重要であり、受入最終日には地域の方を集めた報告会や広報誌、ホームページ等で彼らの提言を町に広めた。

6. 今後の課題と展開

夏場だけの受入だけではなく、閑散期である冬場での受入や、1ウィーク受入等形態を変えながら、町の様々な実状に合わせた課題解決を図っていき、町の活性化に結び付けていく。